

## 令和 6 年度 長野県総合防災訓練 【保健福祉事務所主体訓練】 実施概要

佐久保健福祉事務所

## 1 日時及び会場

令和 6 年 10 月 20 日（日） 9:00～12:00

浅間南麓こもろ医療センター 6 階 会議室（仮想「佐久合同庁舎内」）

## （参考）県総合防災訓練の全体像

メイン会場：小諸市南条公園

サブ会場：小諸市役所、小諸市総合体育館、小諸市武道館等 6 箇所

参加機関数：県、小諸市、防災関係機関、各種団体・事業者等 110 機関

訓練種目数：ヘリ救出、大規模火災消火、避難所運営、炊き出し、給水等 39 種目

## 2 保健福祉事務所以外の参加機関（14 機関）

医師会（小諸北佐久、佐久）、歯科医師会（北佐久、佐久）、薬剤師会（小諸北佐久、佐久）、  
 県看護協会佐久支部、地域災害拠点病院（佐久医療センター）、佐久広域連合消防本部、  
 DMAT、DPAT、DWAT、日赤県支部、小諸市（被災自治体・医療救護所）

## 3 実施までの準備等

コア会議 1 回（4/24）

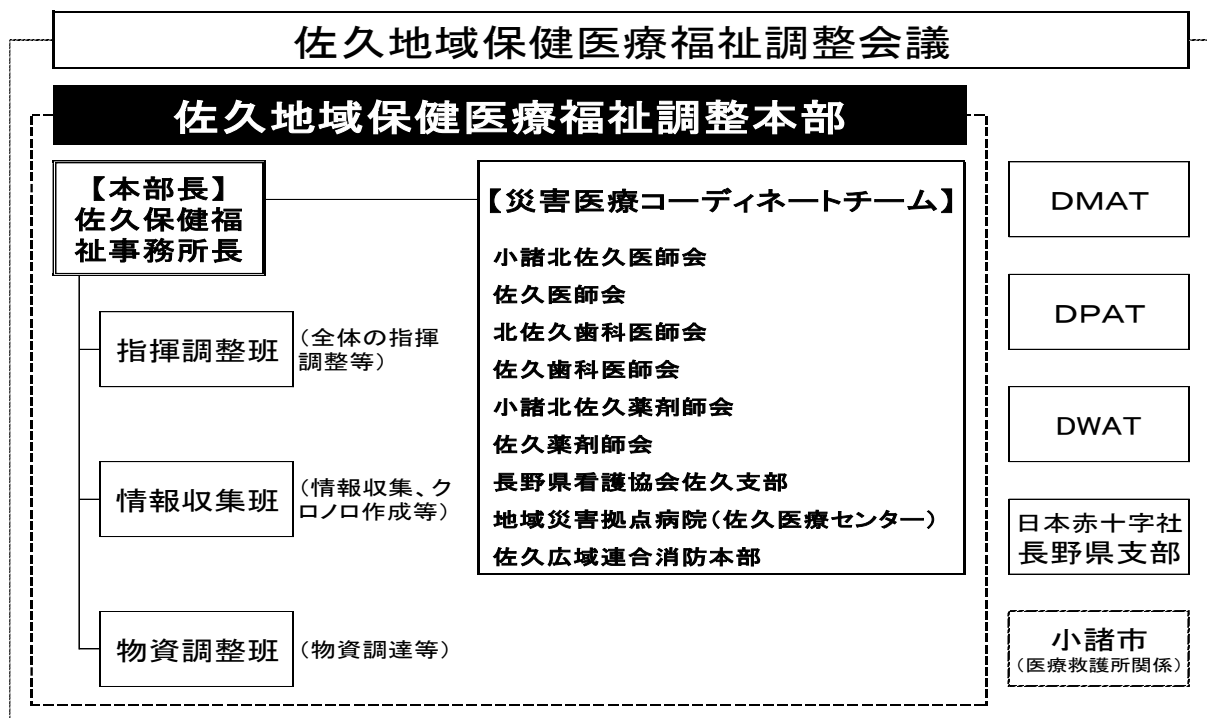
全体会議

2 回（5/28、9/20）

医療分科会 4 回（5/28、6/26、7/24、9/20）

シナリオ検討会議 1 回（9/6）

## 4 組織体制（組織図）



## 5 災害想定

- 10/12（土）までの秋雨前線の停滞による長雨により、小諸・佐久地方は例年 10 月の平均降水量を超過し、千曲川の増水、中沢川の鉄砲水、その他中小河川沿いに土砂災害が発生。
- 10/20（日）午前 8 時 5 分に小諸市内で最大震度 5 強の地震が発生し、「大規模な地滑りによる複数家屋の倒壊」「土砂による中山間地域の主要幹線の通行不能」「複数箇所での集落の孤立」「市街地での停電・断水・通信状況の悪化・ガス漏れによる火災」が発生。

- ・ 直ちに、県及び市が災害対策本部を設置し、市は住民に避難指示を発令。
- ・ 同 9 時に市が南条公園に災害対応機関の現地合同調整所を設置し、市内各所に避難所を開設。

## 6 実施内容

### (1) 佐久地域保健医療福祉調整本部の設置（発災直後を想定）

- ・ 保健福祉事務所長が「調整本部」の設置を決定。
- ・ 災害医療コーディネートチームの各機関に対し「参集」を実際に電話して依頼（注：実際には、各機関は会場内で待機）し、到着後は全員がビブスを着用して準備。
- ・ 各機関の参集を確認し、「調整本部の設置完了」を県庁保健医療福祉調整本部、DMAT 活動拠点本部、医療救護所等へ報告。
- ・ 本部長（保健福祉事務所長）から全員に現況説明。

### (2) 佐久地域保健医療福祉調整本部の活動（発災数時間後を想定）

#### ① 情報収集

- ・ 医療機関の被災状況（人的・物的）を、実際に E M I S を活用して把握。
- ・ 福祉施設の被災状況を把握。
- ・ 災害医療コーディネートチームの各機関を通じ、会員の医療施設等の被災状況を把握。
- ・ 外部機関から伝達された情報の共有。

#### ② 活動調整

- ・ 収集した情報の内容を調整本部内で共有・精査し、対応先を検討の上、該当機関へ対応を依頼。

#### 【事例】

- ・ 9:10 避難所から「パニックの者が多数いる。DMAT を派遣してほしい。」  
⇒ DMAT 活動拠点本部へ要請を伝達⇒このころの医療センター駒ヶ根から職員派遣
- ・ 9:15 小諸市災対本部から「医療従事者が不足。DMAT を派遣してほしい。」  
⇒ DMAT 活動拠点本部へ要請を伝達⇒9:50 市災対本部から「DMAT 到着」連絡あり
- ・ 9:58 「川西赤十字病院が倒壊。電気、水道、医療用ガスが×。入院者含め 70 名の移送必要」  
⇒ 県災対本部に連絡するとともに、広域搬送を含めた対応を消防に依頼、両医師会を通じて受入可能数を確認
- ・ 10:10 市災対本部から「医療救護所で静注用鎮痛剤（100 ミリリットル）が不足。」  
⇒ 小諸北佐久薬剤師会に確認を依頼⇒同薬剤師会を通じてアルフレッサ㈱に調達を依頼
- ・ 10:30 雨宮病院から「酸素ガス 500 リットルが 10 本不足。」  
⇒ 県調整本部へ調達を依頼⇒11:10 「対応完了」の連絡あり

### (3) 第 1 回佐久地域保健医療福祉調整会議の開催（発災日夕方頃を想定）

- ・ 会場を設営（レイアウト変更）するとともに、資料等を準備。
- ・ 調整本部以外の DMAT 以下 5 機関も参加し、調整本部の 9 機関（保健福祉事務所を除く）を合わせた全 14 機関が現時点で把握する情報を順次報告し、課題の確認と今後の対応を検討。
- ・ 本日中に対応すべき内容／翌日へ持ち越す内容等を、整理・共有。

## 7 振り返り

- ・ 各機関とも、今回のような全機関参加型の実動訓練はほぼ初めての経験であったことから、上記(3)第 1 回調整会議の終了後に会場内にて反省会（相互に意見交換）を行うとともに、当該訓練のコントローラー（相澤病院救命救急センター）からも助言等をいただいた。
- ・ 11/15 付けで保健福祉事務所から災害医療コーディネートチームに課題・対応策等を文書照会し、「自組織に係る課題」「調整本部に係る課題」それぞれに回答をいただいた。
- ・ 保健福祉事務所内でも独自に課題や見直し事項等を検討しており、結果は今後の対応に反映させることとした。